

神戸市公立大学法人第4期中期計画における前回からの修正点について

1. 前回の評価委員会でいただいた主な意見

- ・全体的に現状維持の印象。すでに目標値を達成している指標については上方修正する必要があるのではないかな。
- ・各教育機関における重点項目については、もう少し意欲的な目標を設定すべきではないかな。
- ・各指標の目標達成年度を明確にする必要がある。
- ・6か年の進捗管理が可能な指標設定にできないかな。
- ・指標の数は妥当なのか（右表参照）。

指標数（再掲含む）の比較

第3期	115 個	➡	第4期（10/25 時点）	140 個
			↓（追加6個、削除8個）	
			第4期（2/7 時点）	138 個

2. 評価委員のご意見と市との調整（中期目標への対応等）を踏まえた前回からの修正

- ①全体的な数値指標の底上げ。各教育機関及び法人における重点項目については、過去の実績を超える意欲的な目標への修正。

○各教育機関及び法人における重点項目

外大	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの国際化関係（TOEIC 等スコアの取得者数、外国人留学生数、英語で行う授業科目の比率） ・市政課題への貢献（神戸市と連携した取組件数、学生への魅力ある市内企業の周知）
高専	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの資金受入額 ・神戸市及び地元企業との共同研究の件数
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・連携事業（相互開放授業科目数、双方の教員による連携の数） ・外部からの資金受入額

- ②全指標への目標達成年度の追記。6か年の進捗管理を行えるよう、目標達成に至るまでの途中段階の目標の設定。

- ・全指標への具体的な年度、もしくは末尾への（毎年度）等の記載
- ・（定量指標の例）2025 年度～ ○件/年 以上、2027 年度～ ○件/年 以上、2030 年度 ○件/年 以上
- ・（定性指標の例）2025 年度 ○○○、2026 年度 ○○○、2027 年度 実施

③新たな指標の追加

		追加指標	概要
外大	3-1-1- (1)	■学生生活調査による TOEIC900 点以上のスコア取得者数：120 人/年 以上（学生生活調査の実施年度）	キャンパスの国際化に関する指標として、第3期から目標値を大幅に増加させ設定
	3-1-1- (2)	■海外提携校との COIL 型教育の実施：2028 年度～ 3 校、2030 年度 5 校	キャンパスの国際化を実現する指標として設定
	3-1-1- (4)	■市内高校への入試に関する訪問件数 ■市内高校での模擬授業の件数	市民への還元という観点から設定
	3-1-4	■神戸市に本社を置く企業・団体のインターンシップの情報提供を学生に行う件数	市内企業への就職という観点から設定
法人	6-1	■（再掲）（高専）外部からの資金受入額（間接経費を含む）（ふるさと納税・受託研究・共同研究・受託事業・寄附金・補助金等・科研費）及び財源多元化による新規収入の合計：2025 年度～ 95,000 千円/年 以上、2027 年度～ 110,000 千円/年 以上	外大と高専で別指標とした

- ④達成済みである指標、法令上定められている当然実施する内容の指標等の削除

⑤本文の修正箇所

		10/25 評価委員会	2/7 評価委員会
高専 3-2-1- (1)	・学科横断の PBL 科目を導入するとともに、非常勤の実務家教員の積極的登用を図り、アントレプレナーシップ教育や実践的教育を推進する。	・学科横断の PBL 科目を導入し、 <u>教員ファシリテーターとしてのスキルを高めるとともに</u> 。	
法人 4-1	・文理横断・分野横断教育を促進するプラットフォーム機能を通じたグローバル人材、デジタル人材の養成に向けて、両教育機関が連携して取り組む。	・ <u>両教育機関の教員が中心となって、企業・団体等を含む多様な関係者の参加・協働等により文理横断・分野横断教育を促進するプラットフォーム機能を構築し、</u> 。	
法人 9	予算、収支計画、資金計画の作成		
全体	脚注の追加、その他軽微な修正		